2026 年度

研究分野	授業科目名	科目責任者
生理系分野	運動器機能再建再生学特論Ⅰ・Ⅲ	三谷 茂

開講年次	共通／専攻／選択	単位数	
1,2,3,4	特論Ⅰ：必須専攻, 特論Ⅲ：選択	特論Ⅰ：4（2/年）, 特論Ⅲ：1/年	

目的

運動器の病態生理を理解して、骨、関節の再建を行うための治療法を確立する。

授業到達目標

1．構造と機能
（1）骨・軟骨・関節・靭帯・筋肉・末梢神経の構造と機能を説明できる。
（2）四肢の骨・関節を列挙し、主な骨の配置を説明できる。
（3）椎骨の構造と脊柱の構成を説明できる。
（4）四肢の主要筋群の運動と神経支配を説明できる。
（5）骨の成長と骨形成・吸収の機序を説明できる。
2．症候
（1）関節痛・関節腫脹の原因と病態生理，診断の要点を説明できる。
（2）腰背部痛の原因を列挙し，診断の要点を説明できる。

授業計画

回数	月日	曜日	時間	担当者	区分 1	区分 2	授業内容
1	毎週	月・金	7:30-8:00	三谷 茂	講義	[抄読会]	運動器再建に関する最新の解剖学的知見を大学院生が簡潔にまとめて報告する。それに対して指導者と討論を行い、知識の整理を行う。 [場所:13 階中病棟カンファレンス室 1]

評価方法

【特論Ⅰ】
（1）1年間※で 30 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2）1年間※で，論文紹介または症例発表を２回行い，その要約２編を提出する。
【特論Ⅲ】
（1）1年間※で 15 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2）1年間※で，論文紹介または症例発表を２回行い，その要約２編を提出する。
ただし，特論Ⅰ・Ⅱで紹介したものとは異なる論文（症例）であること。
特論ⅠとⅢの同年度での重複受講は不可とする。
※1～3年生は2月末まで，4年生は 11 月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。

課題（レポート等）に対するフィードバック

論文内容の要約についてディスカッションを行い，内容を正確に把握できていることを確認する。

教科書

ISBN-9784263265918, カパンジー機能解剖学 I 上肢 Anatomie fonctionelle (7th Edition), A.I. Kapandji, 塩田悦仁（翻訳）, 医歯薬出版, 2019
ISBN-9784263265925, カパンジー機能解剖学 II 下肢 Anatomie fonctionelle (7th Edition), A.I. Kapandji, 塩田悦仁（翻訳）, 医歯薬出版, 2019
ISBN-9784263265932, カパンジー機能解剖学 III 脊椎・体幹・頭部 Anatomie fonctionelle (7th Edition), A.I. Kapandji, 塩田悦仁（翻訳）, 医歯薬出版, 2019

参考書

ISBN-9780443117633, CAMPBELL'S OPERATIVE ORTHOPAEDICS＜4 volume set＞(15th Edition), Frederick M. Azar, MD, Jeffrey R. Sawyer and Thomas W. Throckmorton, Elsevier, 2026
ISBN-9784260049368, 標準整形外科学(第 15 版), 田中栄, 高木理彰, 松田秀一編集 ; 井樋栄二 [ほか] 執筆, 医学書院, 2023

準備学習（予習・復習等）

（1）この５年間の関連文献を事前に約１時間程度収集し、内容を理解しておくこと。
（2）復習としては講義後に約１時間程度内容の分析を行い、その時点での疑問点を列挙し、その解決に取り組むこと。

修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

（1）整形外科学の深い学識を獲得する。
（2）日本国民のみならず、全世界の人々からも信頼される医療を提供できる整形外科医育成を目的に活動する。

注意事項・メッセージ

形態学のみならず、運動学を考慮に入れた脊椎・下肢関節の機能解剖学を学修すること。